

九州医師会連合会第 129 回定例委員総会（報告）

日 時：令和 7 年 8 月 23 日（土）17：00～18：00

場 所：ホテルオークラ福岡（4 階 平安Ⅱ）

出席者：田名会長、平安副会長、大屋参与、
砂川常任理事、涌波常任理事、
事務局（崎原局長、久場課長補佐、大田）

去る 8 月 23 日（土）、ホテルオークラ福岡にて標記定例委員総会が開催された。本総会では九州医師会連合会令和 6 年度決算や令和 7 年度事業計画並びに予算等、9 つの議案が承認可決されたので、その概要を報告する。

1. 開 会

瀬戸裕司委員より開会が宣言された。

2. 挨拶

1）前九州医師会連合会長 福田 稔

昨年 1 年間、皆様方のお陰で無事大役を務めることが出来た。改めて感謝申し上げる。福岡県の先生方には 1 年間お世話になるがどうぞよろしくお願いしたい。

2）九州医師会連合会長 蓮澤 浩明

本日は九州医師会連合会第 129 回定例委員総会を開催したところ、九州各地からたくさんの先生方にご参集いただき感謝申し上げます。前任の熊本県医師会の後を継ぎ、1 年間精いっぱい務めて参る所存である。

現在、医療機関は、物価高騰や賃金上昇の影響を受け、大変厳しい経営状況に直面している。そのような中、「骨太の方針 2025」に賃金・物価上昇に応じ公定価格等への適切な反映が明記されたことは、日本医師会の粘り強い交渉とご苦勞、そして自見はなこ先生のご尽力の結果である。

九州医師会連合会としても、今後本格化する財源確保の議論に向けて、九医連としてより一層結束を固め、日本医師会と連携を強化し、様々な課題に取り組んでいきたい。

3. 来賓祝辞

日本医師会長 松本吉郎

「骨太の方針 2025」については、先生方のお力添えのお陰で本会からの要望を踏まえた形となり、その後政局が大きく動いたが閣議決定された内容ということで、今後どのような形になろうとも日本医師会としてしっかりと主張して参りたい。

また、参議院議員選挙では、社会保障系でトップを目指すという目標を達成することができた。自民党への厳しい逆風の中でも善戦し、釜菴先生の票の 25%近くが九州・沖縄からのものであり、九州医師会連合の先生方のご支援に心より感謝申し上げます。

今後は予算編成が最大の難関になる。財務省は再度 5,000 億円規模の社会保障費の削減を企図している。削減の対象として、外来加算やかかりつけ関連診療料、各種管理料、処方箋料などが検討されている。さらに、薬剤の一部負担増や OTC 類似薬の保険適用除外の動きは、国民皆保険制度の根幹を揺るがすものであり、このような国民の負担を増やすようなことはあってはいけないと考える。

また、最低賃金の引き上げや人事院勧告の賃上げが決定したが、これに伴って公定価格も引き上げなければ、医療機関の経営に大きな影響が出てくる。全国的に閉院する医療機関もある状況においては、診療報酬の期中改定が必要である。

日本医師会常任理事 今村英仁

現在、「地域医療及び医療計画等に関する検討会」で議論されている新たな地域医療構想については、今年度中にガイドラインが作成される予定である。特に、新たな項目である「病院機能」をどのように考えるかが非常に重要である。九州各地域で多様な事情があるかと思うので、要望等があれば声を寄せていただきたい。この構想では、大学病院が地域医療を担う位置づけも具体的に議論が始まってくるため、その進め方についても意見を頂戴したい。

また、新たに始まる「かかりつけ医機能報告制度の研修制度」については、来年本格的に開始される見込みである。開業医だけでなく病院勤務医を含む多くの先生方にこの研修を受けていただくことで、日本医師会が主張する「かかりつけ医機能が地域医療を面で支える」という考え方を全国で確立できると考えている。

さらに、去る 6 月の日医定例代議員会で質問があった有料職業紹介会社の問題については、松本会長の指示のもと日医としてもしっかりと取り組む方針である。

日本医師会常任理事 濱口欣也

小児・周産期医療については、日本医師会にとって重要なテーマの一つであり、特に医療機関の経営改善に向けた活動を展開してきた。令和 6 年度の補正予算では、ベースアップや小児・周産期に関する補助金として 55 億円の緊急支援パッケージが計上されたが、焼石に水のような金額であり、日医としてさらなる国への働きかけが必要である。

また、病床数適正化支援事業に関しては要望を下回る 12,078 床という結果になった。しかし「骨太の方針 2025」においては、新たな地域医療構想に向けた病床削減が設定されており、地域の実情について調査を実施し、次の医療構想にて削減を図るとされている。これに関し日本医師会は、丁寧な議論を行うこと、適正化事業の対象外となった 4 万数千床を優先的な支援対象とすること、パンデミック等有事対処も含む地域に必要な入院医療が失われないこと、そして全国の住民・患者・家族に対し丁寧な説明を行うことを強く主張していく。

さらに、出産費用の保険適用化について、本年 5 月に公表された検討会の取りまとめでは、妊娠期から産後を通じた負担軽減を目指し、特に標準的な出産費用の自己負担無償化と安全で質の高い周産期医療体制の確保が謳われている。安心・安全な分娩のためには、医療機関が質を維持し事業を継続できることが最も重要であり、今後も国に働きかけていく。

4. 座長選出

座長は、慣例により蓮澤浩明九州医師会連合会会長が務めることになった。

5. 報 告

1) 第 424 回常任委員会について

座長より資料に基づき報告があった。

先ほど 16 時から別室にて標記常任委員会を開催し、協議事項 7 題

について協議を行った。協議 2) については、次回第 126 回（令和 8 年度）九州医師会医学会開催担当県は鹿児島県に決定し、次々回第 127 回（令和 9 年度）同学会開催担当県は佐賀県に内定した。また、協議 4) 九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会については、令和 8 年 1 月 17 日（土）に福岡県医師会館にて開催することに決定した。

2) 令和 6 年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について

昨年度担当した熊本県医師会 水足秀一郎 委員より資料に基づいて報告があった。

期間は令 6 年 7 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日までの 1 年間、常任委員会（6 回開催）、委員総会（2 回開催）、各種協議会（2 回開催）、その他の連絡協議会等（9 回開催）、その他の関係行事（6 回）を実施した。また九医連としての慶弔等の対応や、九医連総会・医学会及び関連行事は 2 日間で延べ 1,180 名の参加があった。

6. 議 事

第 1 号議案 令和 6 年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件

昨年度担当した熊本県医師会 水足秀一郎 委員より決算報告の後、令和 6 年度監事の瀬戸委員（福岡県）より令和 6 年度九州医師会連合会歳入歳出決算について会計監査を行ったところ、帳簿並びに関係書類は適正妥当である旨会計監査報告があった。

本議案は原案どおり承認可決された。

歳入合計	140,302,688 円
歳出合計	<u>43,834,373 円</u>
差引残高	96,468,315 円

第 2 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会事業計画に関する件

桑野恭行委員（福岡県）より令和 7 度九医連事業計画について説明があり、本議案は原案どおり承認可決された。

1. 連絡協調並びに定例諸会議の開催に関する事項

- (1) 常任委員会及び委員総会
- (2) 九州ブロック日医代議員連絡会議

- (日医代議員、日医各種委員合同協議会を含む)
- (3) 各種連絡協議会
 - (4) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議
 - (5) 日本医師会との連携強化
 - (6) その他

2. 支援すべき事項

- (1) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会
(令和 7 年 7 月 5 日 (土)・6 日 (日) 於：福岡市)
- (2) 九州ブロック学校保健・学校医大会
(令和 7 年 7 月 27 日 (日) 於：佐賀市)
- (3) 九州学校検診協議会
(令和 7 年 7 月 27 日 (日) 於：佐賀市)
- (4) その他

3. 九州医師会総会・医学会の開催

(令和 7 年 11 月 29 日 (土)・30 日 (日) 於：福岡市)

第 3 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件

辻裕二委員（福岡県）より標記負担金賦課について説明があり、本議案は原案どおり承認可決された。

会員一人 年額 2,000 円とする。

(但し、卒後 5 年間会員（研修医含む）については、減免により無料とする。)

第 4 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件

辻裕二委員（福岡県）より標記歳入歳出予算について説明があり、本議案は原案どおり承認可決された。

歳入歳出予算額 145,747,315 円

第 5 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会監事（2 名）の選定に関する件

座長より説明があった。監事は慣例により隣接県から選出し、本総

会にて選定することになっている。令和 7 年度は美川優子委員（佐賀県）と石和俊委員（大分県）を選定した。

第 6 号議案 令和 7 年度第 125 回九州医師会医学会事業計画に関する件

桑野恭行委員（福岡県）委員より九州医師会医学会事業計画について説明があり、本議案は原案どおり承認可決された。

- ① 11 月 28 日（金）前日諸会議
- ② 11 月 29 日（土）合同協議会、総会・医学会
- ③ 11 月 30 日（日）6 分科会、8 記念行事
- ④ 学会役員

第 7 号議案 令和 7 年度第 125 回九州医師会医学会会費賦課に関する件

辻裕二（福岡県）委員より標記医学会会費賦課について説明があり、本議案は原案どおり承認可決された。

会員一人 年額 2,000 円とする。

（但し、卒後 5 年間会員（研修医含む）については、減免により無料とする。）

第 8 号議案 九州医師会連合会会則の一部改正に関する件

桑野恭行委員（福岡県）より標記一部改正について説明があり、本議案は原案どおり承認可決された。

改正内容（下線：追加部分、二重取消線：削除部分）

第 9 条 会長、副会長、監事に欠員を生じたときは、補欠を選任するものとする。

第 14 条 次の事項は、委員総会の議決を経なければならない。

- (1) 会則の変更に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他本会の目的達成上重要な事項

2 次の事項は、委員総会に報告しなければならない。

- (1) 庶務及び事業報告

(2) その他会長が必要と認める事項

7. 協議

1) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における九州ブロックからの候補者推薦について

座長より資料に基づき提案があった。

釜菟敏先生が参議院議員に当選され、日本医師会副会長を辞任されることに伴い、九州ブロックからの日本医師会副会長候補者および理事候補者の推薦について協議願いたい。

協議の結果、原案どおり、日本医師会副会長候補者として福田稔 熊本県医師会会長を、同理事候補者として蓮澤浩明 福岡県医師会会長を推薦することが承認された。

8. その他

座長より提案事項や質問がないか確認を行ったが、特になかった。

9. 閉 会

瀬戸裕司委員より閉会が宣言された。